

チャレンジ！前へ！Season1



学校は長年にわたって「自主性」を重んじ、「自立した学習者」となれるように教育を行ってきました。コロナ禍となり全国的に学校が休業となったときにその答えが出た感じです。学校は家庭学習の指示やプリントなどを用意し、家庭に届けたりドライブスルー方式で保護者に渡したりと工夫しました。突然の休業に学校の準備が間に合わなかったということになります。特に小学校においては顕著でした。突然の休業から出た答えは「子供たちは自主的に学ぶことができなかった」。もちろん自ら進んで学びに向かっていった子供たちもいましたが…。

VUCAな時代(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の中で、義務教育9年間で自立した学習者になるようにしていくことが求められます。そのためには、これまであった学校のシステムを改善していく必要があります。特に発達の段階を考慮しなくてはならない小学校の役割は大きいと思うのです。**教師が黒板を背にして一生懸命に授業をするスタイルから改善していきます。**



教えない学びの実践へ ～学校のシステムを変えていこう～



6年生算数



2年生算数



3年生国語



1年生図工

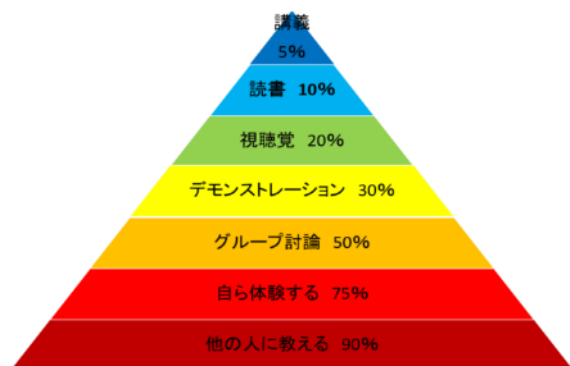


5年生算数



4年生算数

私たち教師は「教え伝えたい」という思いがあります。黒板を背に、子供たちの未来を夢見て、一生懸命に実践してきました。この思いがなかったら今の日本はなかったと思います。この思いの角度を少しだけ変えてみようというのが本校の「教えない学び」の実践になります。単元全てにおいて「一切教えない」ことではありません。**単元の中で、子供たちに学び方を選択させ、子供たちの力で解決したり解答させたりしていくのです。**先生は支援するのみ。先生が教えてしまえば簡単なことです。ゴールに向かう子供たちの方法は様々です。**教え導くことに加え、見守り導くこと**を実践しようとするのが本校の「教えない学び」の原点です。



自分から能動的に学習を進めることで定着率が上がることを示したラーニングピラミッド

子供たちの学びたいを形にしていこうよ！



まずは学校が変わってみよう！

